

2025 年度事業計画

一般社団法人生活情報基盤研究機構

昨事業年度の評価と今事業年度での重点項目

2024 年度は、役員の職務の怠慢など、適正な組織づくりのための課題が浮かび上がったと同時に、メンバーの集め方やプロジェクトの進める方向などに光が見えてくる年度であった。これを踏まえ、以下の重点項目を設定する。

重点項目

- 引き続きコミュニケーションを活発に行い、プロジェクトマネジメントを動かしていく
→ 定期的に進捗通話をするなど。メンバーも安定したところでプロジェクトマネジメントのほうも進める。
- 分からないことがあったら聞く文化を徹底する
→ 把握していないことがないように
- メンバーが実際に着実に何らかの仕事をできるようにすること
- チャレンジとなるようなプロジェクトをメンバー自ら実際に始め、やってみる
→ 参加者に対して、組織として提供できるものを明らかにし、その中でアイデアを募集し、積極的にさまざまなことに取り組むことを促し、新たなプロジェクトへの挑戦の機会を増やす。

情報共有と情報公開 (広報)

組織としてメンバーが外部にソフトウェアや記事を公開する機会を増やす。(組織の仕事であっても作者がクレジットされる体制が整ったことから)

主なプロジェクト予定

本機構で実施するプロジェクトはすべて、基本的な成果物を公開し、ソフトウェアの場合は、オープンソース (フリー/自由ソフトウェア) として共有することを原則とし、また、実施状況や組織の運営およびインフラなどに関する情報を積極的に公開する。

ネットワークおよびインフラ

次のチャレンジとなるプロジェクトを行えるような基盤をきちんと整備していく。

分散ネットワークの研究開発

まずはソーシャルメディアを主要なアプリケーションとして、分散型プロトコルやアプリケーションの研究開発を実際に行う。

メディア制作

電子書籍や動画などの媒体で、参加者のもつ、あるいは学習したスキルや知識の共有や、一般市民の知識の向上につながる成果物の共有などを行う。学術や文化的活動の広報物、成果物等の公表や配布を支援する。

独立ラボの「応用ウィキ研究所」の進める WikiApplied ウィキファームの活用も検討し、情報を共有するための基盤を整備する。

- IT に関する人材育成に資するような講座・教材の制作
- MediaWiki を仮に利用してナレッジベースサイトを法人本体の事業として行うこと

法的基盤の整備

悪意ある者などから知的財産権などを悪用した迷惑行為等を受けることを防ぐため、また本法人が法規に則った事業を行っていくため、今年度進めていくチャレンジングな事業に必要なとなるような公的な認可・届出・申請などを適切に行う。また防衛的な視点から知的財産権を取得していく。

寄附金収入の拡大および新規構成員の募集

よりさまざまな、情報基盤を活かした公益に資する事業を行えるようにするため、寄付を気軽に行えるような環境や社会のニーズに応えるための事業の公募やアイデア募集、成果物の公表や広報などを行い、新規構成員を増やすことで、人的資源の拡大も図る。

予算書

2025 年度予算

一般社団法人生活情報基盤研究機構

(1) 経常収益	
受取会費	50,000
事業収益	0
受取補助金等	0
受取寄付金等	450,000
雑収益	1,000
経常収益計	501,000
(2) 経常費用	
事業費	262,000
通信費	250,000
寄付金	12,000
管理費	220,000
知財等手数料	210,000
租税公課	10,000
経常費用計	482,000
評価損益等調整前当期経常増減額	18,000
基本財産評価損益等	0
特定資産評価損益等	0
投資有価証券評価損益等	0
評価損益等計	0
当期経常増減額	18,000
期首正味財産残高	45,682
期末正味財産残高	63,682